

# HP OMi Management Pack for Apache Web Server

ソフトウェアバージョン: 1.00

HP Operations Manager i (Linux および Windows® オペレーティング システム)

## インストールガイド

ドキュメントリリース日: 2015 年 1 月

ソフトウェアリリース日: 2014 年 9 月



## ご注意

### 保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

### 権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

### 著作権について

© Copyright 2014 - 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® および Windows® は、Microsoft グループの米国における登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

## ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。 <https://softwaresupport.hp.com/group/softwaresupport/search-result?keyword=>

このサイトを利用するには、HP Passport のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、HP Passport のサインイン ページで **[アカウントを作成してください]** ボタンをクリックしてください。

## サポート

次の HP ソフトウェアサポートの Web サイトを参照してください。 <https://softwaresupport.hp.com>

このサイトでは、HP のお客様窓口のほか、HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HP ソフトウェア サポート オンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HP ソフトウェアサポートの Web サイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport ID を登録するには、 <https://softwaresupport.hp.com> にアクセスして **[Register]** をクリックしてください。

アクセスレベルの詳細については、次の Web サイトをご覧ください。 <https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>

## HP Software Solutions & Integrations and Best Practices

HP Software Solutions Now (<https://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>) を参照してください。このサイトでは、HP ソフトウェアのカタログに記載された製品の説明を確認したり、情報を交換したり、ビジネス ニーズを解決 することができます。

Cross Portfolio Best Practices Library (<https://hpln.hp.com/group/best-practices-hpsw>) からは、さまざまな ベスト プラクティス文書 や資料にアクセスすることができます。

## 目次

第1章: はじめに .....	6
このマニュアルで使われている略語 .....	6
関連ドキュメント .....	7
ライセンス .....	7
第2章: OMi MP for Apache Web Server のインストール .....	8
インストールメディア .....	8
インストールの前提条件 .....	9
ソフトウェア要件 .....	9
BSM サーバでのソフトウェア要件 .....	9
OMi サーバでのソフトウェア要件 .....	10
インストール時のチェックリスト .....	10
BSM サーバ用チェックリスト .....	10
OMi サーバ用チェックリスト .....	12
Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新のインストール .....	13
分散 BSM 環境での追加のソフトウェア更新のインストール .....	13
BSM DPS での追加のソフトウェア更新のインストール .....	13
BSM GWS での追加のソフトウェア更新のインストール .....	15
一般的な BSM 環境での追加のソフトウェア更新のインストール .....	16
Apache Web サーバ CI タイプのデフォルト表示ラベルの設定 .....	18
BSM または OMi での OMi MP for Apache Web Server バージョン 1.00 のインストール .....	19
Linux BSM または OMi サーバの場合 .....	19
Windows BSM または OMi サーバの場合 .....	20
OMi MP for Apache Web Server のインストールの確認 .....	22
Apache Web サーバ構成ファイルの変更 .....	23
第3章: 作業の開始 .....	25
BSM コンソールでの作業の開始 .....	25
タスク 1: BSM コンソールへのノードの追加 .....	25
タスク 2: エンリッチメント ルールの有効化 .....	26
タスク 3: Apache WS 検出アスペクトのデプロイ .....	26
タスク 4: 検出の確認 .....	28

タスク 5: Apache Web サーバ管理テンプレートまたは Apache Web サーバアスペクトのデプロイ .....	28
タスク 5a: 管理テンプレートの特定とデプロイ .....	28
タスク 5b: Apache Web サーバアスペクトのデプロイ .....	29
OMi コンソールでの作業の開始 .....	30
タスク 1: OMi コンソールへのノードの追加 .....	30
タスク 2: エンリッチメント ルールの有効化 .....	31
タスク 3: Apache WS 検出アスペクトのデプロイ .....	31
タスク 4: 検出の確認 .....	33
タスク 5: Apache Web サーバ管理テンプレートまたは Apache Web サーバアスペクトのデプロイ .....	33
タスク 5a: 管理テンプレートの特定とデプロイ .....	34
タスク 5b: Apache Web サーバアスペクトのデプロイ .....	34
ドキュメントのフィードバックを送信 .....	36

# 第1章: はじめに

HP OMi MP for Apache Web Server (OMi MP for Apache Web Server) は HP Operations Manager i (OMi) とともに動作し、Business Service Management (BSM) を使用してユーザ環境で実行中の Apache Web サーバを監視できます。Apache Web サーバは、Web ブラウザからの要求を受信し、Web ページを処理することによって Web ブラウザに回答します。静的コンテンツと動的コンテンツの両方の要求をサポートします。Apache Web サーバは仮想ホスティングをサポートするので、単一マシン上で複数の Web サイトを同時に処理できます。OMi MP for Apache Web Server では、Apache Web サーバの状況やステータスを監視する目的で、次のコンポーネントが提供されています。

- Apache Web サーバ管理テンプレート
- Apache Web Server のアスペクト
- パラメータ
- ポリシーテンプレート
- ランタイム サービス モデル (RTSM) のビュー
- イベント タイプ インジケータ (ETI)
- 状況 インジケータ (HI)
- トポロジ ベースのイベント 相関処理 (TBEC) ルール
- グラフテンプレート
- ツール

注: コンポーネントの詳細は、OMi Management Pack for Apache Web Server のオンライン ヘルプまたはオンライン ヘルプの PDF 版を参照してください。

## このマニュアルで使われている略語

名称	説明
BSM	Business Service Management
OMi	HP Operations Manager i
RTSM	ランタイム サービス モデル

名称	説明
MPDVD	OMi Management Pack for Apache Web Server DVD
BSM DPS	BSM データ処理 サーバ
BSM GWS	BSM ゲートウェイ サーバ
OMi MP	HP OMi Management Pack
OMi MP for Apache Web Server	HP OMi Management Pack for Apache Web Server

## 関連ドキュメント

BSM および Monitoring Automation についての詳細は、BSM マニュアルを参照してください。

OMi についての詳細は、次のドキュメントを参照してください。

OMi MP for Apache Web Server の詳細は、次のドキュメントを参照してください。

- リリースノート
- オンラインヘルプのPDF版

## ライセンス

OMi MP for Apache Web Server には、個別のライセンスは必要ありません。Monitoring Automation のライセンスオプションの詳細については、『Operations Manager i Monitoring Automation インストールガイド』の「Monitoring Automation のライセンスオプション」を参照してください。

## 第2章: OMi MP for Apache Web Server のインストール

この項では、BSM サーバ(Linux and Windows) および OMi サーバ(Linux and Windows) での OMi MP for Apache Web Server のインストールについて説明します。

### インストールメディア

この項では、OMi MP for Apache Web Server のインストールメディアについて説明します。OMi MP for Apache Web Server は OMi MP for Apache Web Server DVD (MPDVD) および電子メディアに収録されています。MPDVD および電子メディアは、英語および英語以外のロケール環境に対応しています。ロケール要件に基づき、適切なインストールメディアを使用できます。

OMi MP for Apache Web Server DVD および電子メディアには、ソフトウェアおよび製品 マニュアルが収録されています。分散環境では、すべての BSM データ処理 サーバ(BSM DPS) とゲートウェイ サーバ(BSM GWS) にインストールする必要があります。

次の表に、MPDVD と電子メディアに収録されているドキュメントの情報を記します。

ドキュメント	場所	目的
オンライン ヘルプ	BSM コンソールの <b>[ヘルプ]</b> メニューで利用できます。  BSM コンソールから、 <b>[ヘルプ] &gt; [BSM ヘルプ] &gt; [Application Administration] &gt; [Operations Management] &gt; [OMi Management Pack for Apache Web Server]</b> に移動します。  OMi コンソールの <b>?</b> メニューから使用可能。  OMi コンソールから、 <b>?</b> <b>&gt;[全般的なヘルプ] &gt; [管理ガイド] &gt; [管理パック] &gt; [OMi Management Pack for Apache Web Server]</b> に移動します。	次の情報を提供します。 <ul style="list-style-type: none"><li>Apache Web Server 管理 テンプレートの使用</li><li>Apache Web Server のアスペクト およびポリシー テンプレートの使用</li><li>インジケータ (HI、ETI) の使用</li></ul>
インストールガイド	<MPDVD>\DOCUMENTATION\en	
オンライン ヘルプの PDF 版	<MPDVD>\DOCUMENTATION\en	



ドキュメント	場所	目的
リリースノート	<MPDVD>\DOCUMENTATION\en	次の情報を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 主要な機能</li> <li>• インストールについて</li> </ul>

## インストールの前提条件

以下の項では、BSM (Linux および Windows) サーバおよび OMi (Linux および Windows) サーバでの OMi MP for Apache Web Server のインストールに関するハードウェアおよびソフトウェアの前提条件を一覧表示します。

## ソフトウェア要件

OMi MP for Apache Web Server を BSM サーバ (Windows または Linux) にインストールするためのソフトウェア要件の詳細は、「[BSM サーバでのソフトウェア要件](#)」を参照してください。

OMi MP for Apache Web Server を OMi サーバ (Windows または Linux) にインストールするためのソフトウェア要件の詳細は、「[OMi サーバでのソフトウェア要件](#)」を参照してください。

## BSM サーバでのソフトウェア要件

OMi MP for Apache Web Server バージョン 1.00 をインストールする前に、BSM サーバへ以下のコンポーネントをインストールし、構成する必要があります。

### BSM サーバ

コンポーネント	バージョン
BSM	9.23 以降*
HP Monitoring Automation	9.23 以降*

注: 大規模環境では、BSM 9.24 以降を使用することをお勧めします。

### 管理対象ノード

コンポーネント	バージョン
Operations Agent	11.12 以降*

注: \* サポート マトリックスの詳細は、  
<http://support.openview.hp.com/selfsolve/document/KM323488> を参照してください。

## OMi サーバでのソフトウェア要件

OMi MP for Apache Web Server バージョン 1.00 をインストールする前に、OMi サーバへ以下のコンポーネントをインストールし、構成する必要があります。

### OMi サーバ

コンポーネント	バージョン
HP Operations Manager i	9.23 以降*
OMi MP for Infrastructure	1.10
OMi MP for Apache Web Server	1.00

注: 大規模環境では、BSM 9.24 以降を使用することをお勧めします。

### 管理対象ノード

コンポーネント	バージョン
Operations Agent	11.12 以降*

注: \* サポート マトリックスの詳細は、  
<http://support.openview.hp.com/selfsolve/document/KM323488> を参照してください。

## インストール時のチェックリスト

OMi MP for Apache Web Server を BSM サーバにインストールする場合は、「[BSM サーバ用チェックリスト](#)」を参照してください。

OMi MP for Apache Web Server を OMi サーバにインストールする場合は、「[OMi サーバ用チェックリスト](#)」を参照してください。

## BSM サーバ用チェックリスト

OMi MP for Apache Web Server のインストールでは、次の表にまとめたタスクを指定の順序で事前に行います。

## BSM サーバ

タスク	参照先
BSM のインストールに必要な前提条件のチェック	『BSM インストールガイド』の「一般的な前提条件」を参照してください。
BSM バージョン 9.23 以降のインストール	『BSM インストールガイド』の「BSM 9.20 のインストール」および「最新の BSM 9.2x マイナー マイナー リリースとパッチのインストール」を参照してください。
Monitoring Automation バージョン 9.23 以降のインストール	『Operations Manager i Monitoring Automation インストールガイド』の「Monitoring Automation のインストール」を参照してください。
Monitoring Automation のインストールの確認	
Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新のインストール	<a href="#">「Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新のインストール」</a> の項を参照してください。
Apache Web サーバ CI タイプのデフォルト表示ラベルの設定	<a href="#">「Apache Web サーバ CI タイプのデフォルト表示ラベルの設定」</a> を参照してください。
OMi MP for Apache Web Server 1.00 のインストール	<a href="#">「BSM または OMi での OMi MP for Apache Web Server バージョン 1.00 のインストール」</a> を参照してください。

## 管理対象ノード

タスク	参照先
HP Operations Agent 11.12 以降のインストール	『HP Operations Agent および HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure インストールガイド』の「Installing the HP Operations agent 11.12 (HP Operations Agent 11.12 のインストール)」を参照してください。
メインの Apache 構成ファイルの設定	<a href="#">「Apache Web サーバ構成ファイルの変更」</a> を参照してください。

## OMi サーバ用チェックリスト

OMi MP for Apache Web Server のインストールでは、次の表にまとめたタスクを指定の順序で事前に実行します。

### 管理対象サーバ

タスク	参照先
OMi MP for Infrastructure バージョン 1.00 のクリーン アップ	OMi MP for Infrastructure バージョン 1.00 がすでにインストールされている場合は、『OMi Management Pack for Infrastructure インストールガイド』の「OMi MP for Infrastructure バージョン 1.00 の削除」を参照してください。
OMi MP for Infrastructure 1.10 のインストール	『OMi Management Pack for Infrastructure インストールガイド』の「OMi MP for Infrastructure 1.10 のインストール」を参照してください。
OMi MP for Apache Web Server 1.00 のインストール	<a href="#">「BSM または OMi での OMi MP for Apache Web Server バージョン 1.00 のインストール」</a> を参照してください。
ライセンスの適用	「ライセンスの適用」の項を参照してください。

### 管理対象ノード

タスク	参照先
HP Operations Agent 11.12 以降のインストール	『HP Operations Agent および HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure インストールガイド』の「Installing the HP Operations agent 11.12 (HP Operations Agent 11.12 のインストール)」を参照してください。
メインの Apache 構成ファイルの設定	<a href="#">「Apache Web サーバ構成ファイルの変更」</a> を参照してください。

## Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新のインストール

**注:** BSM 9.23 に限り、Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新をインストールする必要があります。

OMi MP for Apache Web Server をインストールする前に、Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新をインストールする必要があります。Monitoring Automation 9.24 以降のバージョンを使用している場合、この追加のソフトウェア更新のインストールは不要です。Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新は MPDVD に収録されています。

## 分散 BSM 環境での追加のソフトウェア更新のインストール

この項では、分散 BSM 環境でのソフトウェア更新のインストールの詳細について説明します。分散 BSM 環境では、BSM DPS と BSM GWS を異なるシステムで使用できます。追加のソフトウェア更新は、BSM DPS と BSM GWS の両方にインストールする必要があります。

分散 BSM 環境ではない場合、次の項をスキップして「[一般的な BSM 環境での追加のソフトウェア更新のインストール](#)」を参照してください。

### BSM DPS での追加のソフトウェア更新のインストール

分散 BSM 環境で動作している BSM DPS で追加のソフトウェア更新をインストールするには、次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行して、現在の opr-config-content-server.war ファイルのバージョンをチェックします。

#### Linux の場合:

```
cd /opt/HP/BSM/opr/webapps  
  
/opt/HP/BSM/opr/support/what.sh ./opr-config-content-server.war
```

#### Windows の場合:

BSM がインストールされているドライブに移動します。

```
cd /d %TOPAZ_HOME%\opr\webapps  
  
cscript %TOPAZ_HOME%\opr\support\what.vbs opr-config-content-server.war
```

**注:** バージョン番号が09.23.174 より下である場合、次の手順に進んでください。バージョン番号が09.23.174 以上である場合は、現在のBSM インストールに必要なソフトウェア更新が既に含まれているため、この項の残りのステップは実行不要です。

2. 次のコマンドを実行して、BSM DPS で実行中のBSM サービスを停止します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/scripts/run_hpbsm stop
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\bin\SupervisorStop.bat
```

3. 次のフォルダにある既存のopr-config-content-server.war ファイルをバックアップします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HPBSM/opr/webapps
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

opr-config-content-server.war ファイルを別のフォルダにバックアップする必要があります。

4. HPOprMA\_update.zip を一時フォルダに展開し、opr-config-content-server.war を次のフォルダにコピーします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HPBSM/opr/webapps
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

5. 次のコマンドを実行して、ソフトウェア更新から新しいwar ファイルをデプロイします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/opr/bin/oprcfg-configuration.sh -setup omi -noGW
```

**Windows の場合:**

```
cscript %TOPAZ_HOME%\opr\bin\oprcfg-configuration.vbs -setup omi -noGW
```

6. 次のコマンドを実行して、BSM サービスを開始します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/scripts/run_hpbsm start
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\bin\SupervisorStart.bat
```

## BSM GWS での追加のソフトウェア更新のインストール

分散 BSM 環境で動作している BSM GWS で追加のソフトウェア更新をインストールするには、次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行して、現在の `opr-config-server.war` ファイルのバージョンをチェックします。

**Linux の場合:**

```
cd /opt/HP/BSM/opr/webapps
```

```
/opt/HP/BSM/opr/support/what.sh ./opr-config-server.war
```

**Windows の場合:**

BSM がインストールされているドライブに移動します。

```
cd /d %TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

```
cscript %TOPAZ_HOME%\opr\support\what.vbs opr-config-server.war
```

**注:** バージョン番号が 09.23.174 より下である場合、次の手順に進んでください。バージョン番号が 09.23.174 以上である場合は、現在の BSM インストールに必要なソフトウェア更新が既に含まれているため、この項の残りのステップは実行不要です。

2. 次のコマンドを実行して、BSM GWS で実行中の BSM サービスを停止します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/scripts/run_hpbsm stop
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\bin\SupervisorStop.bat
```

3. 次のフォルダにある既存の `opr-config-server.war` ファイルをバックアップします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/opr/webapps
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

opr-config-server.war ファイルを別のフォルダにバックアップする必要があります。

4. HPOprMA\_update.zip を一時フォルダに展開し、opr-config-server.war を次のフォルダにコピーします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HPBSM/opr/webapps
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

5. 次のコマンドを実行して、ソフトウェア更新から新しい war ファイルをデプロイします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/opr/bin/oprcfg-configuration.sh -setup omi
```

**Windows の場合:**

```
cscript %TOPAZ_HOME%\opr\bin\oprcfg-configuration.vbs -setup omi
```

6. 次のコマンドを実行して、BSM サービスを開始します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/scripts/run_hpbsm start
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\bin\SupervisorStart.bat
```

## 一般的な BSM 環境での追加のソフトウェア更新のインストール

一般的な BSM 環境では、BSM DPS と BSM GWS を同じシステムで使用できます。一般的な BSM 環境で追加のソフトウェア更新をインストールするには、次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行して、現在の opr-config-server.war のバージョンをチェックします。

**Linux の場合:**

```
cd /opt/HP/BSM/opr/webapps
```

```
/opt/HP/BSM/opr/support/what.sh ./opr-config-server.war
```



**Windows の場合:**

BSM がインストールされているドライブに移動します。

```
cd /d %TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

```
cscript %TOPAZ_HOME%\opr\support\what.vbs opr-config-server.war
```

**注:** バージョン番号が 09.23.174 より下である場合、次の手順に進んでください。バージョン番号が 09.23.174 以上である場合は、現在の BSM インストールに必要なソフトウェア更新が既に含まれているため、この項の残りのステップは実行不要です。

2. 次のコマンドを実行して、BSM サーバで実行中の BSM サービスを停止します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/scripts/run_hpbsm stop
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\bin\SupervisorStop.bat
```

3. 次のフォルダにある既存の opr-config-server.war ファイルをバックアップします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HPBSM/opr/webapps
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

opr-config-server.war ファイルを別のフォルダにバックアップする必要があります。

4. HPOprMA\_update.zip を一時フォルダに展開し、opr-config-server.war を次のフォルダにコピーします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HPBSM/opr/webapps
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

5. 次のコマンドを実行して、ソフトウェア更新から新しい war ファイルをデプロイします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/opr/bin/oprcfg-configuration.sh -setup omi
```

**Windows の場合:**

```
cscript %TOPAZ_HOME%\opr\bin\oprcfg-configuration.vbs -setup omi
```

6. 次のコマンドを実行して、BSM サービスを開始します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/scripts/run_hpbsm start
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\bin\SupervisorStart.bat
```

## Apache Web サーバ CI タイプのデフォルト 表示ラベルの設定

Apache Web Server CIT のデフォルト 表示ラベルの一部として、name を追加する必要があります。

Apache サーバの標準設定の表示ラベルを設定するには、以下の手順を実行します。

1. CI タイプ マネージャ ペインを開きます。

BSM で、**[管理]** > **[RTSM 管理]** > **[CI タイプ マネージャ]** をクリックします。

OMi で、**[管理者]** > **[RTSM 管理]** > **[CI タイプ マネージャ]** をクリックします。

2. **[CI タイプ]** ペインに移動して、ドロップダウンメニューから **[CI タイプ]** を選択します。
3. **[Managed Object]** > **[Configuration Item]** > **[Infrastructure Element]** > **[Running Software]** > **[Web Server]** > **[Apache]** を選択します。
4. 右ペインで、**[標準設定ラベル]** タブをクリックします。**[CI タイプラベル定義形式]** ペインが開きます。
5. **[CI タイプラベル定義形式]** ペインの最初のエントリとして name を追加します。

例: (name|product\_name|discovered\_product\_name|description|root\_class) &root\_container\_name

6. 変更を保存します。

# BSM または OMi での OMi MP for Apache Web Server バージョン 1.00 のインストール

OMi MP for Apache Web Server を BSM サーバ (Linux または Windows) または OMi サーバ (Linux または Windows) にインストールするには、MPDVD を使用します。この項では、OMi MP for Apache Web Server を BSM サーバ または OMi サーバ にインストールする手順について説明します。

**注:** BSM 分散環境では、OMi MP for Apache Web Server がすべての BSM サーバ (BSM DPS および BSM GWS) にインストールされている必要があります。インストールを進める前に、Monitoring Automation が実行中であることを確認する必要があります。ステータスを確認するには、BSM コンソールにログオンし、**[管理] > [セットアップと保守] > [サーバデプロイメント]** に移動して、Monitoring Automation が有効かどうかを確認します。

## Linux BSM または OMi サーバの場合

OMi MP for Apache Web Server を Linux BSM/OMi サーバ にインストールするには、以下の手順を実行します。

1. root ユーザとしてログオンします。
2. コマンド `umask 022` を入力して、`umask` を設定します。
3. コマンド `mkdir /<mount_point>` を入力して、DVD または電子メディアをマウントするディレクトリを作成します。

例: `mkdir /dvdrom`

4. DVD をディスクドライブに挿入するか、電子メディアのインストールパッケージをコピーし、次のコマンドを使用してマウントします。

DVD の場合: `mount /dev/<dvdrom_drive_name> /<mount_point>`

電子メディアの場合: `mount -o loop <e-media> /<mount_point>`

5. ディレクトリを `/<mount_point>` に変更します。
6. 次のコマンドを実行します。

```
./mpinstall.sh -i [-h|help]
```

次の表を参照して、ロケールに応じたコマンドを実行します。

DVD	MP ロケールが BSM ロケールと同じ場合	MP ロケールが BSM ロケールと異なる場合
英語の DVD	<code>./mpinstall.sh -i</code>	<code>./mpinstall.sh -i</code>
英語以外の DVD	<code>./mpinstall.sh -i</code>	<code>./mpinstall.sh -i -locale &lt;mplocale&gt;</code>

例: BSM が簡体中国語ロケールではない場合に、簡体中国語ロケールで OMi MP for Apache Web Server をインストールするには、次のコマンドを指定します。

```
./mpinstall.sh -i -locale zh_CN
```

**注:** 次のコマンド オプションを使用できます。

```
mpinstall.sh -i [-locale <MP ロケール>] [-h|help]
```

`-i`: Management Pack をインストールします。

`-locale`: インストールするロケール専用の Management Pack。

`-h|-help`: ヘルプメッセージを表示します。

<MP ロケール> は次のように指定できます。

- zh\_CN: 簡体中国語ロケール
- ja: 日本語ロケール

7. エンドユーザ使用許諾契約書 (EULA) に同意する場合は、**Yes** または **Y** と入力します。使用許諾契約書に同意しない場合は、**No** または **N** と入力します。

**注:** 使用許諾契約書 (EULA) に同意しない場合、OMi MP for Apache Web Server はインストールされません。

インストールが完了すると、HP OMi Management Pack for Apache Web Server のインストールが終了したことを示すメッセージが表示されます。

## Windows BSM または OMi サーバの場合

OMi MP for Apache Web Server を Windows BSM または OMi サーバにインストールするには、以下の手順を実行します。x

1. DVD をディスクドライブに挿入するか、電子メディアのインストールパッケージをコピーし、展開します。
2. コマンド プロンプトを開き、<DVD-ROM> または電子メディアのディレクトリに移動して、次のコマンドを実行します。

```
cscript /nologo mpinstall.vbs -i [-locale <mplocale>] [-h|-help]
```

次の表を参照して、ロケールに応じたコマンドを実行します。

DVD	MP ロケールが BSM ロケールと同じ場合	MP ロケールが BSM ロケールと異なる場合
英語の DVD	cscript /nologo mpinstall.vbs -i	cscript /nologo mpinstall.vbs -i
英語以外の DVD	cscript /nologo mpinstall.vbs -i	cscript /nologo mpinstall.vbs -i -locale <MP のロケール>

例: BSM が簡体中国語ロケールではない場合に、簡体中国語ロケールで OMi MP for Apache Web Server をインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
cscript /nologo mpinstall.vbs -i -locale zh_CN
```

**注:** 次のコマンド オプションを使用できます。

```
cscript /nologo mpinstall.vbs -i [-locale <MP ロケール>] [-h|help]
```

-i: Management Pack をインストールします。

-locale: インストールするロケール専用の Management Pack。

-h|-help: ヘルプメッセージを表示します。

<MP ロケール> は次のように指定できます。

- zh\_CN: 簡体中国語ロケール
- ja: 日本語ロケール

3. エンドユーザ使用許諾契約書 (EULA) に同意する場合は、**Yes** または **Y** と入力します。使用許諾契約書に同意しない場合は、**No** または **N** と入力します。

インストールが完了すると、HP OMi Management Pack for Apache Web Server のインストールが終了したことを示すメッセージが表示されます。

## OMi MP for Apache Web Server のインストールの確認

この項では、Linux および Windows BSM サーバでの OMi MP for Apache Web Server のインストールの確認について説明します。

OMi MP for Apache Web Server のインストールは、次の手順で確認できます。

- 以下の場所で BSM GWS、BSM DPS、および BSM の一般サーバのログファイルのエラーをチェックします。

### Linux の場合:

```
/opt/HP/BSM/log/mpinstall.log
```

### Windows の場合:

```
%TOPAZ_HOME%\log\mpinstall.log
```

- 次の場所をチェックします。

BSM では、**[管理]** > **[オペレーション管理]** > **[セットアップ]** > **[コンテンツ パック]** をクリックします。

[コンテンツ パック定義] ペインに、**OMi Management Pack for Apache Web Server** が表示されている必要があります。

OMi では、**[管理]** > **[セットアップと保守]** > **[コンテンツ パック]** をクリックします。

[コンテンツ パック定義] ペインに、**OMi Management Pack for Apache Web Server** が表示されている必要があります。

- BSM サーバにインストールされている OMi MP をリストするには、以下のコマンドを実行します。

### Linux の場合:

```
/opt/HP/BSM/bin/ContentManager.sh -username <BSMusername> -password <BSMpwd> -l
```

### Windows の場合:

```
%TOPAZ_HOME%\bin\ContentManager.bat -username <BSMusername> -password <BSMpwd> -l
```

**注:** ContentManager.bat または ContentManager.sh コマンドで、コンテンツ パックの名前とバージョンがリスト表示されます。

**注:** 次の場所に、BSM GWS と BSM DPS の両方の OMi ログファイルがあります。

**Linux の場合:** /opt/HP/BSM/log/EJBContainer/opr-configserver.log

**Windows の場合:** %TOPAZ\_HOME%\log\EJBContainer\opr-configserver.log

## Apache Web サーバ構成ファイルの変更

環境内の Apache Web サーバを監視するには、メインの Apache Web サーバ構成ファイルを編集する必要があります。

**注:** 手順 1~6 の変更作業は、メインの httpd.conf ファイルで行ってください。OMi MP for Apache Web Server の最新バージョンでは、httpd.conf ファイルで include ディレクティブを指定できません。

httpd.conf ファイルを次の手順で設定します。

1. OMi MP for Apache Web Server は、Listen ディレクティブを解析し、監視に使用するポートを特定します。

例: Listen 80

**注:** IPv6 アドレスは、次の例のように角括弧で囲んでください。

```
Listen [2001:db8::a00:20ff:fea7:ccea]:80
```

監視ソリューションは Listen ディレクティブで指定されたポートに接続し、Apache Web サーバのパフォーマンスメトリックを収集します。

**注意:** Listen ディレクティブで有効なポート番号を指定しないと、Apache Web サーバは正しく動作しません。

2. Apache Web サーバの応答時間を計算するには、次の例で示すように、CustomLog ファイルエントリに ####D### というサフィックスを指定する必要があります。

```
<IfModule log_config_module>  
LogFormat "%h %l %u %t \"%r\" %>s %b ####D###" common  
CustomLog "logs/access_log" common  
</IfModule>
```

%D エントリを指定すると、Apache Web サーバはマイクロ秒で応答時間をログに記録します。OMi MP for Apache Web Server は、応答時間の計算に使用するパターンを解析します。

3. サーバのステータス情報を取得するには、次の例で示すように、ループバックサーバアドレスへのアクセスを指定する必要があります。

ループバックアドレス:

**IPv4 の場合:**

127.0.0.1

**IPv6 の場合:**

::1

**注:** 監視ソリューションはループバックアドレスと、Listen ディレクティブで指定されたポートに接続し、パフォーマンスメトリックを収集します。すべてのパフォーマンスメトリックを収集する場合は、**ExtendedStatus** ディレクティブをオンにする必要があります。

```
<Location /server-status>
SetHandler server-status
Order Deny,Allow
Deny from all
Allow from 127.0.0.1
</Location>
ExtendedStatus On
```

**注:** mod\_status モジュールが Apache Web サーバ構成の一部としてロードされていることを確認してください。この操作は、Apache Web サーバのパフォーマンスメトリックを ExtendedStatus On フラグで取得するのに必要です。

4. OMi MP for Apache Web Server のログ監視ポリシーで ErrorLog を監視するには、httpd.conf ファイルに ErrorLog のエントリを追加する必要があります。

例: ErrorLog "logs/error\_log"

5. OMi MP for Apache Web Server は、次の例で示すように、仮想ホストブロックで ServerName ディレクティブによって構成した仮想ホストを特定します。

```
<VirtualHost *:80>
ServerName vh1.example.com
DocumentRoot /srv/www
</VirtualHost>
```

6. 構成ファイルの変更を保存します。Apache Web サーバを再起動します。



## 第3章: 作業の開始

この項では、OMi MP for Apache Web Server を使用した Apache Web サーバインスタンスの監視に必要なタスクについて説明します。Apache Web サーバ環境の監視についても説明します。

BSM コンソールでの作業の開始の詳細については、「[BSM コンソールでの作業の開始](#)」を参照してください。

OMi コンソールでの作業の開始の詳細については、「[OMi コンソールでの作業の開始](#)」を参照してください。

### BSM コンソールでの作業の開始

この項では、OMi MP for Apache Web Server を使用した Apache Web サーバインスタンスの監視に必要なタスクについて説明します。Apache Web サーバ環境の監視についても説明します。

#### タスク 1: BSM コンソールへのノードの追加


**注:** 監視対象の Apache Web サーバがすでに Smart Plug-in (SPI) for Apache Web Server で監視されている場合は、まず、Apache Web サーバをホストしている管理ノードから SPI アーティファクトとデータソースを削除します。

**注:** RTSM にノードが既に存在する場合、このステップをスキップしてタスク 2 に進むことができます。

監視を始める前に、BSM コンソールにノードを追加する必要があります。

1. [オペレーション管理の管理] ページから [モニタ対象ノード] ペインを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [セットアップ] > [モニタ対象ノード]

2. [ノードビュー] ペインで [事前定義済みのノード フィルタ] > [モニタ対象ノード] をクリックし、 をクリックしてから、[Computer] > [Unix] を選択します。[モニタ対象ノードの新規作成] ダイアログボックスが表示されます。
3. ノードの [プライマリ DNS 名]、[IP アドレス]、[オペレーティングシステム]、[プロセッサアーキテクチャ] を指定し、[OK] をクリックします。

新規に作成されたノードが CI インスタンスとして RTSM に保存されます。

**注:** Operations Agent が稼働するノードは、OMi サーバに対して有効にしてから、証明書を付与す


る必要があります。

## タスク 2: エンリッチメント ルールの有効化

エンリッチメント ルールを有効にするには、以下の手順を実行します。

1. [エンリッチメント マネージャ]を開きます。

[管理] > [RTSM 管理] > [モデリング] > [エンリッチメント マネージャ]

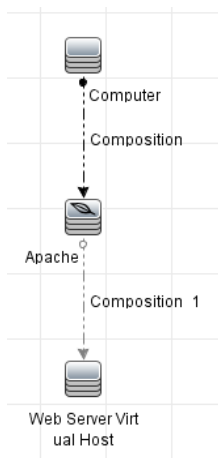
2. [エンリッチメント ルール] ペインで、リストから [SoftwareElementDisplayLabelForNewHost] を選択します。
3. 右クリックして [プロパティ] を選択します。[エンリッチメント ルールのプロパティ] ウィンドウが開きます。
4. [次へ] をクリックします。
5. [ルールを有効にする] を選択します。
6. [完了] をクリックします。
7. [エンリッチメント ルール] ペインで、 をクリックして変更を保存します。

## タスク 3: Apache WS 検出アスペクトのデプロイ

Apache WS 検出アスペクトにより、環境内の Apache Web サーバインスタンスを検出できます。追加した管理対象ノード上の Apache Web サーバ CI を検出するには、Apache WS 検出アスペクトを Computer CI にデプロイする必要があります。

Apache WS 検出アスペクトをデプロイすると、次の CI タイプ (CIT) の CI が検出されます。

- Apache
- Web Server Virtual Host
- Computer




1. [管理 テンプレート および アスペクト] ペインを開きます。

**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理 テンプレート および アスペクト]**

2. [構成 フォルダ] ペインで、次を選択します。

**[構成 フォルダ] > [Web サーバ管理] > [Apache Web サーバ管理] > [アスペクト]**

3. [管理 テンプレート および アスペクト] ペインで **[Apache WS 検出]** アスペクトをクリックし、 **[項目の割り当てとデプロイ]** をクリックします。項目の [割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. **[構成 アイテム]** タブで Apache WS 検出 アスペクトをデプロイする構成アイテムを選択し、**[次へ]** をクリックします。**[必要なパラメータ]** タブが開きます。
5. (オプション)**[必要なパラメータ]** タブで **[次へ]** をクリックします。

**注:** Apache WS 検出 アスペクトには必須パラメータはありません。次の内容の通知が表示されます。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません。」

6. (オプション)**[すべてのパラメータ]** タブで **[次へ]** をクリックします。
7. (オプション) 割り当てを直ちに有効化しない場合は、**[割り当てオブジェクトの有効化]** チェックボックスを外します。**[割り当ておよび調整]** ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

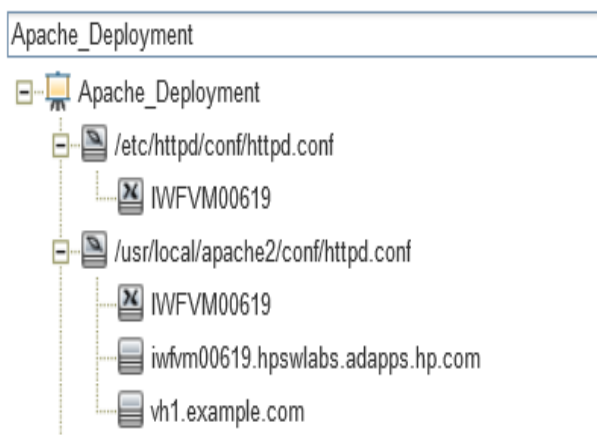
**注:** Apache WS 検出 アスペクトがデプロイされると、次のメッセージが表示されます。「割り当ておよびデプロイメント ジョブを作成しました」デプロイメント ジョブのステータスを確認するには、**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [展開ジョブ]** を選択します。

## タスク 4: 検出の確認

Apache WS 検出アスペクトをデプロイした後、ビューブラウザに CI が表示されていることを確認する必要があります。

検出された CI を表示するには、次の手順を実行します。

1. [アプリケーション] > [Operations Manager] > [Event Perspective] をクリックします。
2. [ビューの参照] タブで Apache\_Deployment ビューを選択します。



## タスク 5: Apache Web サーバ管理テンプレートまたは Apache Web サーバアスペクトのデプロイ


**Monitoring Automation for Composite Applications** ライセンスを使用している場合、Apache Web サーバ管理テンプレートまたは Apache Web サーバアスペクトを CI にデプロイできます。Apache Web サーバ管理テンプレートのデプロイの詳細は、「[タスク 5a: 管理テンプレートの特定とデプロイ](#)」を参照してください。Apache Web サーバアスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 5b: Apache Web サーバアスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

**Monitoring Automation for Servers** ライセンスを使用している場合、Apache Web サーバアスペクトをデプロイできます。Apache Web サーバアスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 5b: Apache Web サーバアスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

### タスク 5a: 管理テンプレートの特定とデプロイ

Apache Web サーバ管理テンプレートをデプロイして、Apache Web Server のパフォーマンスと可用性などの機能を監視できます。

Apache Web サーバ管理テンプレートを CI にデプロイするには、次の手順を実行します。

1. [管理 テンプレート および アスペクト] ペインを開きます。  
**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理 テンプレート および アスペクト]**
2. [構成 フォルダ] ペインで、次を選択します。  
**[構成 フォルダ] > [Web サーバ管理] > [Apache Web サーバ管理] > [管理 テンプレート]**
3. [管理 テンプレート および アスペクト] ペインで **[基本 Apache Web サーバ管理 テンプレート]** をクリックし、 **[項目の割り当てとデプロイ]** をクリックします。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. **[構成 アイテム]** タブで管理 テンプレートを割り当てる Apache CI をクリックし、**[次へ]** をクリックします。
5. (オプション)**[必要なパラメータ]** タブで **[次へ]** をクリックします。


注: Apache Web サーバ管理 テンプレートには必須パラメータはありません。次の内容の通知が表示されます。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません。」

6. (オプション)**[すべてのパラメータ]** タブで **[次へ]** をクリックします。
7. (オプション)**[構成 オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当てオブジェクトの有効化]** チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

注: Apache WS 検出アスペクトは、基本 Apache Web サーバ管理 テンプレートに含まれています。

## タスク 5b: Apache Web サーバアスペクトのデプロイ

Apache Web サーバアスペクトを CI にデプロイするには、以下の手順を実行します。

1. [管理 テンプレート および アスペクト] ペインを開きます。  
**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理 テンプレート および アスペクト]**
2. [構成 フォルダ] ペインで、**[構成 フォルダ] > [Web サーバ管理] > [Apache Web サーバ管理] > [アスペクト]** を選択します。
3. [管理 テンプレート および アスペクト] ペインでデプロイするアスペクトを選択し、 **[項目の割り当てとデプロイ]** をクリックします。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. **[構成 アイテム]** タブでアスペクトを割り当てる Computer CI を選択し、**[次へ]** をクリックします。

**注:** アスペクトをノード CI にデプロイする場合は、**[タイプノードの CI も表示する]** チェックボックスを選択します。

5. (オプション)**[必要なパラメータ]** タブで **[次へ]** をクリックします。

**注:** Apache Web サーバアスペクトには必須パラメータはありません。次の内容の通知が表示されます。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません。」

6. (オプション)**[すべてのパラメータ]** タブで **[次へ]** をクリックします。
7. (オプション) **[構成オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当てオブジェクトの有効化]** チェックボックスを外します。**[割り当ておよび調整]** ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

## OMi コンソールでの作業の開始

この項では、OMi MP for Apache Web Server を使用した Apache Web サーバインスタンスの監視に必要なタスクについて説明します。Apache Web サーバ環境の監視についても説明します。

### タスク 1: OMi コンソールへのノードの追加


**注:** 監視対象の Apache Web サーバがすでに Smart Plug-in (SPI) for Apache Web Server で監視されている場合は、まず、Apache Web サーバをホストしている管理ノードから SPI アーティファクトとデータソースを削除します。

**注:** RTSM にノードが既に存在する場合、このステップをスキップしてタスク 2 に進むことができます。


監視を始める前に、OMi コンソールにノードを追加する必要があります。

1. **[オペレーション管理の管理]** ページから **[モニタ対象ノード]** ペインを開きます。

**[管理] > [セットアップと保守] > [モニタ対象ノード]**

2. **[ノード ビュー]** ペインで **[事前定義済みのノード フィルタ]** > **[モニタ対象ノード]** をクリックし、 をクリックしてから、**[Computer]** > **[Unix]** を選択します。**[モニタ対象ノードの新規作成]** ダイアログボックスが表示されます。
3. ノードの **[プライマリ DNS 名]**、**[IP アドレス]**、**[オペレーティングシステム]**、**[プロセッサアーキテクチャ]**、

およびノードの説明を指定します。リストにないIPアドレスを含めたい場合は、新しいIPアドレスを追加できます。


- a. [IP アドレス] ツールバーで  をクリックします。[新しいIPアドレスの作成] ダイアログボックスが開きます。
  - b. IP アドレスとルーティングドメインを入力します。
  - c. IP アドレスがDHCP サーバによって割り当てられている場合は、**[DHCP]** チェックボックスを選択します。
  - d. **[OK]** をクリックします。
4. **[OK]** をクリックします。

新規に作成されたノードが構成アイテム(CI)インスタンスとしてRTSMに保存されます。

**注:** Operations Agent が稼働するノードは、OMi サーバに対して有効にしてから、証明書を付与する必要があります。

## タスク 2: エンリッチメント ルールの有効化

エンリッチメント ルールを有効にするには、以下の手順を実行します。

1. [エンリッチメント マネージャ] を開きます。  
**[管理] > [RTSM 管理] > [モデリング] > [エンリッチメント マネージャ]** をクリックします。
2. [エンリッチメント ルール] ペインで、リストから **[SoftwareElementDisplayLabelForNewHost]** を選択します。
3. 右クリックして **[プロパティ]** を選択します。[エンリッチメント ルールのプロパティ] ウィンドウが開きます。
4. **[次へ]** をクリックします。
5. **[ルールを有効にする]** を選択します。
6. **[完了]** をクリックします。
7. [エンリッチメント ルール] ペインで、 をクリックして変更を保存します。

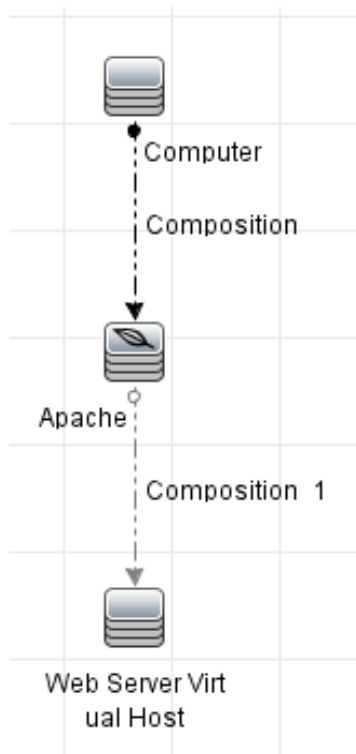
## タスク 3: Apache WS 検出アスペクトのデプロイ

前提条件に基づいて httpd.config ファイルが構成されていることを確認します。ファイルの編集についての詳細は、「[Apache Web サーバ構成ファイルの変更](#)」を参照してください。

Apache WS 検出アスペクトにより、環境内の Apache Web サーバインスタンスを検出できます。追加した管理対象ノード上の Apache Web サーバ CI を検出するには、Apache WS 検出アスペクトを Computer CI にデプロイする必要があります。

Apache WS 検出アスペクトをデプロイすると、次の CI タイプ (CIT) の CI が検出されます。

- Apache
- Web Server Virtual Host
- Computer




1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

**[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト]** をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。

**[構成フォルダ] > [Web サーバ管理] > [Apache Web サーバ管理] > [アスペクト]** をクリックします。

3. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで **[Apache WS 検出]** アスペクトをクリックし、 **[項目の割り当てとデプロイ]** をクリックします。項目の [割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. **[構成アイテム]** タブで Apache WS 検出アスペクトをデプロイする CI を選択し、**[次へ]** をクリックします。**[必要なパラメータ]** タブが開きます。



5. (オプション)[**必要なパラメータ**] タブで [**次へ**] をクリックします。

注: Apache WS 検出 アスペクトには必須パラメータはありません。次の内容の通知が表示されます。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません。」

6. (オプション)[**パラメータ サマリ**] タブで [**次へ**] をクリックします。
7. (オプション) 割り当てを直ちに有効化しない場合は、[**割り当ての有効化**] チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. [**完了**] をクリックします。

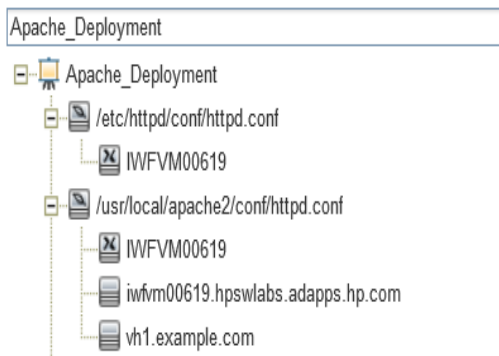
注: Apache WS 検出 アスペクトがデプロイされると、次のメッセージが表示されます。「割り当ておよびデプロイメント ジョブを作成しました」デプロイメント ジョブのステータスを確認するには、[**管理**] > [**監視**] > [**展開ジョブ**] を選択します。

## タスク 4: 検出の確認

Apache WS 検出 アスペクトをデプロイした後、ビュー ブラウザに CI が表示されていることを確認する必要があります。

検出された CI を表示するには、次の手順を実行します。

1. [**ワークスペース**] > [**操作コンソール**] > [**Event Perspective**] をクリックします。
2. [**ビューの参照**] タブで **Apache\_Deployment** ビューを選択します。



## タスク 5: Apache Web サーバ管理テンプレートまたは Apache Web サーバアスペクトのデプロイ

**Monitoring Automation for Composite Applications** ライセンスを使用している場合、Apache Web サーバ管理テンプレートまたは Apache Web サーバアスペクトを CI にデプロイできます。Apache Web サー

管理テンプレートのデプロイの詳細は、「[タスク 5a: 管理テンプレートの特定とデプロイ](#)」を参照してください。Apache Web サーバアスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 5b: Apache Web サーバアスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Monitoring Automation for Servers ライセンスを使用している場合、Apache Web サーバアスペクトをデプロイできます。Apache Web サーバアスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 5b: Apache Web サーバアスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。


## タスク 5a: 管理テンプレートの特定とデプロイ

Apache Web サーバ管理テンプレートをデプロイして、Apache Web Server のパフォーマンスと可用性などの機能を監視できます。

Apache Web サーバ管理テンプレートを CI にデプロイするには、次の手順を実行します。

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト] を選択します。

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Web サーバ管理] > [Apache Web サーバ管理] > [管理テンプレート] をクリックします。
3. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで [基本 Apache Web サーバ管理テンプレート] をクリックし、 [項目の割り当てとデプロイ] をクリックします。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. [構成アイテム] タブで管理テンプレートを割り当てる Apache CI をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. (オプション)[必要なパラメータ] タブで [次へ] をクリックします。

注: Apache Web サーバ管理テンプレートには必須パラメータはありません。次の内容の通知が表示されます。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません。」

6. (オプション)[パラメータ サマリ] タブで [次へ] をクリックします。
7. (オプション)[構成オプション] タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は [割り当ての有効化] チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. [完了] をクリックします。


注: Apache WS 検出アスペクトは、基本 Apache Web サーバ管理テンプレートに含まれています。

## タスク 5b: Apache Web サーバアスペクトのデプロイ

Apache Web サーバアスペクトを CI にデプロイするには、以下の手順を実行します。

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

**[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト]**

2. [構成フォルダ] ペインで、**[構成フォルダ] > [Web サーバ管理] > [Apache Web サーバ管理] > [アスペクト]** をクリックします。
3. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインでデプロイするアスペクトを選択し、 **[項目の割り当てとデプロイ]** をクリックします。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. **[構成アイテム]** タブでアスペクトを割り当てる Computer CI を選択し、**[次へ]** をクリックします。

**注:** アスペクトをノード CI にデプロイする場合は、**[タイプノードの CI も表示する]** チェックボックスを選択します。

5. (オプション)**[必要なパラメータ]** タブで **[次へ]** をクリックします。

**注:** Apache Web サーバアスペクトには必須パラメータはありません。次の内容の通知が表示されます。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません。」

6. (オプション)**[パラメータサマリ]** タブで **[次へ]** をクリックします。
7. (オプション) **[構成オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当ての有効化]** チェックボックスを外します。**[割り当ておよび調整]** ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

# ドキュメントのフィードバックを送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールでドキュメント制作チームまでご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

## Feedback on インストールガイド (OMi Management Pack for Apache Web Server 1.00)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hp.com宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。